

エカフェ諸国の電力事情

エカフェ発行の“Water Resources Journal” ’67年12月号に戦後20年間のエカフェ諸国の電力事情の推移が記載されている。これから設備出力、年間発電電力および1人当りの年間消費電力を取り出せば、それぞれ表一、二、三のようである。

これらによれば、この数年間の電力開発の伸びが著しいことと、諸国間の発電能力の格差が大きいことが目立つ。伸びが著しいのは発電設備の絶対数が小さいことによる。格差が大きいことは日本だけで、エカフェ諸国の設備出力の57.2%、発電量の61%を占めていることからよくわかる。さらにオーストラリア、インドおよびニュージーランドを合わせると4カ国で設備出力の87.9%、発電量の89.2%を占めることになり、その他の諸国を合わせても、残りの12.1%、10.8%を占めるにすぎない。格差は1人当りの年間電力消費量にさらに顕著に表われている。設備出力、発電量では他の諸国を大きく引離している日本もこの面では、ニュージーランド、オーストラリアに大きな差をつけられて両国のほぼ1/2程度である。

表一 エカフェ諸国の電力設備出力(単位は1000 kW)

年 国	1951	1955	1960	1965	年平均伸び率(%) (1961~1965)
エカフェ地域(総計)	15 441.5	22 115.7	37 208.6	63 763.7	11.4
アフガニスタン	11.3	14.0	51.0	58.8	2.83
オーストラリア	2 478.0	2 954.0	5 953.0	8 407.8	7.10
ブルネイ	0.2	1.0	3.2	5.3	10.6
ビルマ	29.7	49.5	190.5	—	—
カンボジア	6.6	11.5	26.3	35.9	6.42
セイロン	52.7	60.8	94.2	195.0	15.65
台湾	305.0	493.4	709.2	1 186.2	10.8
香港	122.0	175.2	365.2	592.3	10.2
インド	1 835.0	2 695.0	4 563.3	8 669.0	13.7
インドネシア	178.6	258.0	275.6	557.4	15.1
イラン	—	—	280.0	602.9	16.55
日本	8 954.8	12 184.9	20 649.0	36 507.0	12.05
韓国	269.9	249.6	367.3	769.5	15.95
ラオス	2.0	1.7	3.8	10.2	21.8
マレーシア	—	—	—	—	—
マラヤ	132.8	237.8	304.4	491.0	10.05
サバ	1.8	3.9	9.2	19.7	16.4
サラワク	1.5	4.1	9.8	19.1	14.3
モンゴリア	—	—	60.9	—	—
ネパール	3.6	3.9	6.4	18.6	23.8
ニュー	—	—	—	—	—
ニュー	675.0	940.0	1 566.0	2 522.0	10.1
シラランド	116.8	200.3	657.8	1 073.4	10.25
パキスタン	167.5	292.1	596.5	835.4	6.95
フィリピン	37.0	102.0	188.0	344.0	12.85
シンガポール	—	—	—	—	—
タイ	42.7	107.6	177.6	527.3	24.3
南ベトナム	—	74.5	98.5	313.5	26.0
西サモア	—	0.9	1.9	2.4	4.78

表二 エカフェ諸国の年間発電電力(単位 100万 kWh)

年 国	1951	1955	1960	1965	年平均伸び率(%) (1961~1965)
エカフェ地域(総計)	65 957.1	90 428.5	163 541.7	274 056.2	10.85
アフガニスタン	24.3	29.0	118.0	175.0	8.15
オーストラリア	10 420.0	14 602.0	22 221.0	33 103.5	8.30
ブルネイ	0.5	2.1	9.1	15.0	10.45
ビルマ	40.9	93.5	254.2	—	—
カンボジア	18.9	29.3	61.3	81.5	8.6
セイロン	96.2	169.0	288.8	433.0	8.37
台湾	1 285.1	1 966.4	3 628.0	6 455.4	12.25
香港	415.2	831.0	1 301.5	2 729.8	15.95
インド	5 858.0	8 592.0	17 078.7	33 821.0	14.65
インドネシア	614.0	1 421.6	1 050.0	1 498.0	7.35
イラン	—	—	860.0	1 250.0	8.60
日本	41 434.0	54 596.0	101 700.0	167 750.0	10.5
韓国	314.0	879.3	1 699.4	3 249.9	13.85
ラオス	4.3	1.9	6.9	16.6	19.2
マレーシア	—	—	—	—	—
マラヤ	618.0	831.0	1 134.3	1 975.9	11.7
サバ	—	3.2	15.0	50.2	27.3
サラワク	3.5	8.2	18.9	48.7	20.9
モンゴリア	—	—	106.4	—	—
ネパール	6.2	6.2	11.3	19.6	11.6
ニュー	—	—	—	—	—
ニュー	3 097.0	4 383.0	6 835.0	10 578.0	9.15
シラランド	299.3	649.6	1 449.9	3 827.0	21.4
パキスタン	594.0	1 078.6	2 259.5	4 059.1	12.45
フィリピン	208.6	369.4	610.4	1 047.6	11.4
シンガポール	—	—	—	—	—
タイ	104.8	288.5	515.7	1 342.1	21.05
南ベトナム	216.0	203.1	304.0	522.0	11.45
西サモア	—	—	4.4	7.3	10.7

表三 年間消費電力(単位 kWh/年・人)

年 国	1951	1955	1960	1965
アフガニスタン	—	—	—	—
オーストラリア	—	—	—	2 570.0
ブルネイ	—	35.0	96.5	775.0
ビルマ	—	—	9.2	—
カンボジア	—	—	8.5	—
セイロン	10.2	—	22.9	33.5
台湾	124.0	169.0	296.0	453.0
香港	81.5	236.0	371.0	628.0
インド	13.2	18.6	31.6	65.0
インドネシア	—	—	8.7	11.5
イラン	—	—	—	40.0
日本	350.0	595.0	939.2	1 510.0
韓国	—	25.9	47.1	86.0
ラオス	—	1.0	—	4.2
マレーシア	—	—	—	—
マラヤ	97.0	121.0	149.5	213.0
サバ	—	—	30.6	84.6
サラワク	—	—	21.4	49.1
ネパール	—	—	0.85	1.1
ニュー	—	—	—	3 400.0
ニュー	2.3	5.9	13.1	25.9
シラランド	166.5	264.0	343.0	488.0
パキスタン	23.5	40.0	68.7	125.5
フィリピン	—	10.7	15.5	35.6
シンガポール	—	12.2	17.0	27.4
タイ	—	—	—	50.0
南ベトナム	—	—	—	—
西サモア	—	—	—	—

(白砂孝夫)

定評ある  
土木学会  
のトンネル  
工学書

トンネル  
標準示方書

A5・36頁  
100円  
〒50円

トンネル  
標準示方書  
解説

A5・130頁 600円  
会員特価 500円  
〒70円

関門トン  
ネル工事誌

B5・692頁  
2000円  
会員特価 1500円  
〒200円

お申込みは前金で送料  
を添えて下さい。

郵便番号 160  
東京都新宿区四谷1丁目

土木学会

電話 351-4131(直)  
振替 東京16828

トンネル工学シリーズ 1

第1回トンネル工学シンポジウム

B5判・106ページ トンネル用鋼アーチ支保工の設計施工について / 長  
400円・会員特価 大トンネルの地質 / トンネル工事における災害の実  
300円(〒50円) 情について / 高熱トンネルの施工について / 名古屋  
市高速度鉄道のシールド工法について / わが国トン  
ネル施工のすう勢と問題点について

トンネル工学シリーズ 2

最近のトンネル工学—工事の実例と話題—  
＜第2回トンネル工学シンポジウム＞

B5判・136ページ トンネル標準示方書制定について / 青函トンネルに  
500円・会員特価 ついて / 国鉄新丹那トンネルについて / 羽田海底ト  
400円(〒50円) ンネルについて / 富士川用水導水トンネル工事に  
ついて / AN-FO爆剤とその発破法

トンネル工学シリーズ 3

第3回トンネル工学シンポジウム

B5判・146ページ トンネル土圧 / トンネル土圧の測定方法と現況 / ト  
1000円・会員特価 ンネル用鋼アーチ支保工の強度について / トンネル  
800円(〒70円) 掘削における余掘りの実態について / セグメントの  
設計について / 栗子トンネルの工事計画と施工実績  
について / 国鉄親不知トンネルの施工実績について  
/ 青函トンネルにおけるウォールマイヤー式トンネル  
掘削機の掘削試験について / 大阪地下鉄線複線型  
と単線型シールドの実施例と問題点 / シールド工法  
による駅部の施工計画について / わが国における中  
小口径シールド工事の現況について

トンネル工学シリーズ 4

わが国シールド工法の実施例・第1集

B5判・338ページ 第I部 工事概要 / 第II部 設計および実績 / 第III  
2200円・会員特価 部 セグメント / 第IV部 シールドおよび付属機械  
1800円(〒110円) / 第V部 工専用機械その他 / 第VI部 主な図表類  
/ 付録  
鉄道および道路・下水道・上水道・電力および通信  
・地下道その他に分類 158件を収録

トンネル工学シリーズ 5

第4回トンネル工学シンポジウム〈最新刊〉

B5判・268ページ ソ連の地下鉄 / アメリカのトンネル工事を視察して  
1800円・会員特価 / アメリカにおける山岳トンネル工法 / アメリカに  
1600円(〒80円) におけるトンネル掘きく機 / アメリカにおける都市ト  
ンネル / アメリカにおけるコンサルタント業務 / ア  
メリカにおける請負工事の諸事情について / アメリ  
カのトンネル施工に関する新技術 / 欧州のトンネル  
工事を視察して / 欧州におけるトンネル請負工事の  
諸事情について / 欧州における山岳トンネル工法 /  
欧州におけるトンネル掘進機について / 欧州のシ  
ールド工事 / 欧州における地下鉄工事 / 欧州における  
沈埋工事